

●8月25日午後13:30 第27回通常総会第2回理事会

11名理事のうち8名の出席委任状、3名の出席で、理事会が開かれました。2021年度8月までの活動報告や執行予算報告が行われ、後半の事業計画の執行に積極的な提案に議論が熱心に続きました。特にコロナウイルス予防のために緊急事態宣言が京都府にも行われていることからマスクや、手洗い、うがいなどの実行を心掛けるべきとの強い意見があり全員が共感しました。そのうえで竹蛇籠や中聖牛の2021年度の対応について深められました。また京都府交響プロジェクトの記録集編集について担当者を誰が担当することになるのかが議論されました。次に蛇籠製作の真竹の確保について話が及びました。続いて会計担当を早急に決定しなければならないとか、会員増加対策が話題になり、若手会員確保のためには希望が見えている農園活動の方々との要求をくみ上げるといった意見があり、出席者一同うなずき合いました。

●第5回京都府子どもの水辺発表交流会

理事長の開会挨拶の後、大住小学校の寺村大希君が元気な自己紹介に続きデッサンノートに魚の絵を書いて、質問を挟んで観察した魚の解説を進めてくれました。ゲンゴロウやフナやコイ、メダカ等をよく観察して解説してくれました。

また篠原龍海君は琵琶湖の魚としてパワーポイントで魚の姿を映しながら説明を進めてくれました。最後に篠原明日海さんと知史海君は琵琶湖にいる魚と題して発表してくれました。

発表の後、生き物に詳しい金田さんから自ら体験をしたことを加えて説明を加えていただきより詳しく参加者は理解できました。また里山の会が今取り組んでいる国の天然記念物のイタセンパラの復活を目指して活動に取り組んでいることを、パンフレットを使っての解説が太田さんからありました。そして最後に金田さんからセミを観察してみようというチラシを使って6種類のセミの説明が行われました。参加した大人からアメリカザリガニは外来種だがどこから日本に来たのだろうか？メダカの生まれた時の大きさはなど、知らないので質問が次々と出されて、答えられないものは来年の宿題に残して11時頃に発表を終わりました。

コロナ感染防止のために野外に出での自然観察は中止しました。発表してくれたみんなは、短い期間しかなかったのによくまとめてくれて発表会を盛り上げていただきました。又、こうした発表する機会に恵まれた子供たちにはいい経験になったのではないのでしょうか。親子で大変頑張ってくださいました。短い準備期間だったけれど大変苦労していただきました。感謝いたします



●2021年度中聖牛・竹蛇籠製作について

これまで2021年度の実行計画は、5基の中聖牛の組立てを行い設置場所は精華町と確定していました。しかし8月23日に竹門先生を含み事務局メンバーで議論を深めたところ、設置場所は山城大橋下流が最適で多くの効果が予想されるのではないだろうかということで変更するとの結論に至りました。それと中聖牛の製作は5基を基本にして4基か、5基かと余裕を持って進めた方がいいのではとなり、したがって竹蛇籠の製作本数は昨年と同数を目指し、中聖牛の設置に合わせて、行おうとの結論になりました。しかし研究学会の打ち合わせが9月8日に開催されるのでその結論

に従っていこうという含みを持たせた内容になりました。けれども最も大切な真竹の確保については、泉大橋での藪で国交省の所有地となり、9月1日に選別を行い2日に竹割機械等諸機械の設置を行うことが決定されました。続いて竹蛇籠の製作講習会の実施は9月12日に実施することも同時に確認されました。

●京田辺大住地区造成工事に関して大住土地整理組合との話し合いの結果を事務局会議での報告書を掲載します

大住土地地区画整理組合による造成工事地における絶滅寸前種発見に伴う話し合いについて 2021-08-24 10時～11時過ぎ 約1時間30分 大住八川原6番地の1

出席者 大住組合理事長 古林貢 事務局長 西堀政信 事務局主任 田中道雄 事務局 金井秀男 事務局 竹村恵佑 京田辺市 環境課長 家村重治、島田博之 里山の会 理事長大村幸正 副理事長 森島保 理事 播川司 植物担当 伊藤千恵子 昆虫担当 金田勉 常務理事 山村武正

○山村 防賀川の経緯と冊子発行の経緯、里山の経過、希少種保存の大切さ記録保存の必要性を説明

○光田 用地の歴史、植物動物保存の大切さをSDGsから説明、まだ行政の姿勢迫及

○古林 組合員100件 工事停止の場合1日当たり100万円の損金が発生する。土砂25000t運搬。相当な保証金が支払われる場合大いに協力する。その覚悟があるか。手続きは京田辺市の指導に従って進めてきて落ち度はない。そちらに言い分があれば工事差し止めを申請すべきと強く主張。臨時総会を開催するから組合員に損害負担の依頼を行ってほしい。説得すべきとやり取り進む。具体的な方法を提案すべきと要求有。あくまでも相互理解の上で協力いただきたいと主張する。互いの立場を相互に理解した

西堀 協力するか日程の許す範囲で現場での譲り合って進めてはと提案有り。双方が合意今週中に日程調整を行うことでも合意して会議終了した。詳しくお聞きになりたい場合は水曜日午前9時からの事務局会議にお出かけください。

●第27回里山講演会 コロナウイルス緊急事態宣言で中止に

親子魚とりの実施や子どもの水辺の取組みに最も議論したことがコロナ問題でした。この感染状況の中で開催が適当かどうか激しい議論をされました。オリンピックが終了したら収束するだろうという甘い考えは通用せず自宅療養者の死亡などが伝えられ、事態は深刻な方向に流れています。この状況を見て今後の取組みは一層慎重にならなければと8月25日の事務局会議で一致しました。随って予定通り開催を行いたい気持ちがあるけれど、ここは宣言期間でもあるし、使わせてもらう準備をしてきた会場も閉鎖となっているので、講演会もカヌー体験も中止せざるを得ないとの結論に至りました。誠に残念ですがカヌー体験会参加を予定され、期待されていた皆さんや、講演をお願いし快くご了解いただいた先生方に大変ご迷惑をおかけすることになったこととお詫び申し上げます。事態が改善し、開催が許されることになりましたらお世話になりたく存じます。

●京田辺市民まつり2021への里山の会の取組みについて

お聞きしますと例年の文化祭から名称を変えた今年の集いは、これまでとは趣旨が変化しているように考えられるのと、経費が高額になりそうなので、模擬店の出店は辞退となり、展示部での参加を検討することになりました。